

視点

「こどもがまんなか」を問い続ける 保育をめざして



東京家政大学教授 那 須 信 樹

いよいよ平成 28 年度の幕開けです。昨年 4 月に施行された子ども・子育て支援新制度も 2 年目を迎えます。施策に謳われた内容を具現化すべく、地域に根ざした学校教育・保育の場としての幼稚園への期待が一層高まってきています。現在進行中の学習指導要領の改訂とも相まって、今年度末には、新しい『幼稚園教育要領』も示される予定です。幼稚園関係者のみならず、わたくしども幼稚園教諭や保育士、あるいはその免許・資格を併有する保育教諭を養成する立場の者にとりましても、今後の幼児教育の一層の振興を果たしていく上で歴史的転換点となる一年になりそうです。

さて、新制度施行後のこの一年をふり返りますと、主に待機児童解消に向けた保育の量的拡大に社会の目が向けられていたような気がします。しかし、待機児童にかかる問題は、いわゆる地域偏在型の問題であり、むしろ多くの地域では少子化によるクラスサイズの小規模化や園の統廃合が進んでいるという実態があります¹⁾。こうした状況に鑑みれば、今後は、保育の単なる量的拡大から、これまで以上に保育の質向上へとその関心の目を向けていかなければならない時期に来ていると言えます。

地域によっては、すでに行政や地域を巻き込みながら、「公私・幼保こ」の壁を越えた協働的かつ創造的な取り組みとして、地域全体の保育の質向上をめざす動きも出てきました。こうした保育の質向上にかかる問題は、幼児教育にかかるすべての当事者がこれまで以上のスピード感を持って、その重要性や必要性を社会に発信し続けながら、国民的な関心事となるような動きに繋げていかなければならない喫緊の課題だと言えます。同時に、子ども不在の政策にならないように、関係者は一層強く、関心の目を向けていかなければなりません²⁾。これまで貴会

が掲げてこられた「こどもがまんなか」を合言葉に、これまで以上に「子どもの立場に立って“社会全体で子どもたちのことを考えたい”」とする気運を、今まさに高めていかなければならないのではないのでしょうか。

だからこそ、専門職である幼稚園教諭や園運営をマネジメントされている管理職の方々には、子どもを真ん中におくという社会的価値観の醸成とそのことの本質に近づこうとする保育実践の工夫や園運営にかかるたゆみない改善とその成果を社会に向けて発信するという地道な取り組みが期待されてきます。日々、「こどもがまんなか」という言葉の真意を希求すべく、家庭や地域社会との連携のもと園生活や保育実践において紡ぎ出される、有能な生きる主体としての子どもとの関係性をいかに豊かなものとしていくことができるのか。行き先不透明な時代だからこそ、次代を創造的に生き抜く「ひと」となる(なって欲しい)子どもという存在と、私たち大人(とりわけ保育関係者や保護者、養成校教員や保育研究者ら)がどのように向き合っていけばよいのか。どれも、未来社会へ送る生きてきたメッセージともなる「子ども」に寄り添うなかで、問い続けなければならない大事なテーマだと言えます。

幼稚園教諭という専門職として、またその専門職を育成していく管理職として、改めて「子ども」という存在への関心を高め、わたくしども養成校を含めた子どもの育ちや学びにかかわるすべての当事者間の対話を深めながら、未来社会への参画を果たしてまいりましょう。共に！

1) 「待機児童など一人もいません。本当は『待機保護者』の問題ではないでしょうか？」(那須きよみ, 2008) との指摘も存在します。

2) 例えば、全国で活躍されている全ての幼稚園教諭が「幼稚園教育要領(改訂版)」へのパブリックコメント募集に対して、ひとことコメントするなどの取り組みはできないものでしょうか。

平成 28 年度政府予算について報告

全日私幼連の団体長会・理事会合同会議が1月29日、東京・私学会館において開催され、57名が出席しました。

議事に移り、議長に鈴木伸司理事（神奈川）、渡辺力理事（長崎）、議事録署名人に武田正廣理事（秋田）、吉田精華理事（熊本）が選任されました。

審議案件1：全日私幼連会則施行細則改正（案）について／田中総務委員長から資料をもとに説明があり、審議の結果賛成多数により承認されました。

審議案件2：平成28年度の全日私幼連会費（案）について／田中辰実総務委員長から資料をもとに説明があり、賛成多数により承認されました。

報告案件1：会務運営報告について／総務委員会・田中委員長よりJK保険について、政策委員会・坪井委員長より第2回政策担当者会議の報告、資料「全国組織としての全日私幼連の活動～全日私幼連加盟の意義」について、国の子ども・子育て会議について、教育研究委員会・安達委員長より全国研究研修担当者会議の報告、教育研究課題について、次年度の公



開保育コーディネーター養成講座・フォローアップ研修について、都道府県や地区での0・1・2歳の研修について、園長・リーダー研修会について説明がありました。認定こども園の第三者評価の実施について、田中副会長より資料「公開保育コーディネーターのこれから」について説明がありました。

経営研究委員会・橋本委員長より後継者育成研修会の報告、経営実態調査の報告、マイナンバーにつ

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは
フリーダイヤル 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス

サーバー二重化!

らくらくメール
園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。

スマホで

らくらくバスメール
スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

ぜ〜んぶ学研に おまかせ!!

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
**キャラクター
ロゴ**

Flashで
動画!

らくらくホームページ
目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にもシステム併用でご対応いたします。

いて、人材確保について、広報委員会・四ツ釜委員長よりPTAしんぶんの入会について、4月号全園児配付について、現代の子どもの生活実態調査について、102条園委員会・葉本委員長より2月29日開催の102条園研修会について、認定こども園委員会・森迫委員長より認定こども園アンケート(中間報告)について報告がありました。こどもがまんなかPROJECT・尾上座長よりサポーター企業について、イベント「こどもがまんなかクラシックコンサートとえほんのつどい」の報告が行われました。

行政報告：「平成28年度政府予算」について／

文部科学省の蝦名喜之高等教育局私学部私学助成課長、淵上孝初等中等教育局幼児教育課長より資料をもとに説明がありました。

(公財)全日私幼研究機構からの報告／田中雅道(公財)全日私幼研究機構理事長等から、平成28年度の免許状更新講習の実施について資料をもとに説明がありました。

その他：PTA連合会の報告として坪井政策委員長から分担金についての報告がありました。

尾上正史副会長の閉会の言葉で終了しました。

(調査広報委員長・四ツ釜雅彦)

● 2.19 常任理事会

全日私幼連の常任理事会が2月19日、東京・私学会館において開催され、32名が出席しました。議長に尾上正史副会長、議事録署名人に石嶋勇常任理事、園尾憲一常任理事を選任、議事に入りました。

■審議案件1：平成27年度補正予算案について／田中辰実総務委員長より資料をもとに説明が行われ、審議の結果賛成多数により承認されました。

■審議案件2：平成28年事業計画案について／各委員長より説明があり、審議の結果、原案を一部修正し承認されました。

■審議案件3：平成28年度収支予算案について／

田中総務委員長より資料をもとに説明が行われ、審議の結果賛成多数により承認されました。

■審議案件4：会長および副会長選任について／田中総務委員長より資料をもとに説明が行われ、賛成多数により承認されました。

■報告案件：会務運営報告について／各委員会委員長、プロジェクト座長から報告がありました。

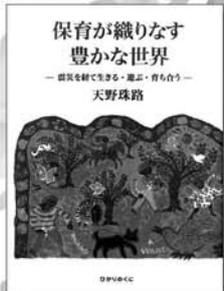
■(公財)全日私幼研究機構からの報告／田中雅道(公財)全日私幼研究機構理事長から、機構の活動状況などの報告がありました。

北條泰雅副会長の閉会の言葉で終了しました。

(総務委員長・田中辰実)

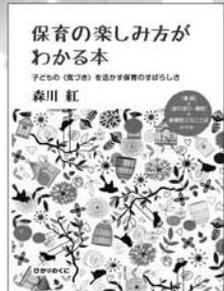
今こそ学びたい、保育の大切なこと

LP24200



保育が織りなす豊かな世界
著／天野珠路
B6上製判 定価：本体 1,200円(税別)
震災は記憶から消したい出来事でした。しかしこれからのことを考えると、特に子どもの命を預かる保育者には忘れてはいけない教訓を残しました。当時の保育現場ルボからそれを読み取れる他、保育の素晴らしさが一杯の書。

LP24100



保育の楽しみ方がわかる本
著／森川 紅
B6上製判 定価：本体 1,200円(税別)
保育は素晴らしい！この本には、そう感じずにはおれない、たくさんの保育事例が紹介されています。読みやすい現場の言葉で短い事例です。そこには子どもの「気づき」を大切にしそれに共感する姿があります。若手保育者必読の書！



ひかりのくに株式会社

本社／〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社／〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表



はじめてみませんか

寄付金募集

寄付金募集の際には日本私立学校振興・共済事業団の

受配者指定寄付金制度

をご活用ください

受配者指定寄付金制度を利用して、学校法人立の私立幼稚園へ寄付を行うと、寄付者（企業・法人）は法人税法上の優遇措置として**全額損金算入**することができます。

ご利用には一定の要件があります
まずは、下記までお気軽にご相談ください

日本私立学校振興・共済事業団
助成部 寄付金課
〒102-8145
東京都千代田区富士見 1-10-12
TEL 03-3230-7317・7318
e:mail kifukin@shigaku.go.jp
HP-URL <http://www.shigaku.go.jp/>

寄付金は私立学校の
重要な収入源です！

※平成27年4月より、子ども子育て支援施設（学校法人が設置する幼保連携型認定こども園）支援のための寄付金もこちらの制度の対象となりました！



第7回ようちえん絵本大賞

大賞
14冊が決定

～新しい絵本をみつけよう～

第7回ようちえん絵本大賞は、“子どもに読み聞かせたい絵本”、“お父さん・お母さんに読んでほしい・お勧めしたい絵本”を選考の基準として、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・調査広報委員会が最近出版された絵本の中から選考を行いました。その結果、特別賞3作品を含む14冊の絵本が絵本大賞に選ばれました。

調査広報委員一同、これからもたくさんの絵本との出会いの一助となるよう努めてまいります。なお、参考までに調査広報委員会が絵本の紹介文を記載させていただきました。

第7回ようちえん絵本大賞 受賞一覧

	絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
特別賞	(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長賞 アンドルーのひみつきち ドリス・バーン (文・絵) 千葉茂樹 (訳) 岩波書店	ものづくりが大好きなアンドルーは、キッチンに工夫を凝らしたヘリコプターを作りました。それなのに、お母さんは、「じゃまだから、どかしてちょうだい」。リビングルームにワシの檻を作ると、お父さんは「檻を持って出て行きなさい」。メリーゴーラウンドを作っても、ロープウェイを作っても・・・みんなに邪魔にされます。そこでアンドルーはついに心を決めます。「自分だけの秘密基地を作るぞ！」さあ、どんな秘密基地ができるのでしょうか？
	調査広報委員長賞 ライオンをかくすには ヘレン・スティーヴンズ (作) さくまゆみこ (訳) ブロンズ新社	ある暑い日、ライオンが帽子を買うために街にやってきました。すると、街の人たちは大騒ぎ！慌てたライオンは、小さな女の子アイリスのおまごとの小屋に逃げ込みます。そこから、アイリスはライオンの隠れ場所探しを始めます。バスタブ、ベッド・・・色々なところに隠れます。アイリスはこのままライオンを隠しておくのでしょうか。続編の「おばあちゃんからライオンをかくすには」も楽しいですよ。
	こどもがまんなかPROJECT賞 おかあさん だいすきだよ みやにしたつや (作・絵) 金の星社	おかあさんはこどもについつい「ああしなさい！」「こうしなさい！」「早くしなさい・・・！」と口を出してしまいます。でも、一日の終わりには、こどもの天使のような寝顔を見て反省する毎日。この本は、子どもにかけられる言葉は前向きに！ポジティブに！子どものエネルギーになるように！かけていきたいものだと気づかせてくれる、まさに「子育て」は「親育て」そのものだと思う感動の一冊です！

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
おかあしゃん。はあい。 くすのきしげのり (作) 岡田千晶 (絵) 佼成出版社	「おかあしゃん」、「はあい」。書かれている文はたったそれだけ。けれどもそれは、深い愛情と確かな絆で結ばれた幸せなやりとりです。日常の中で繰り返される母と子の笑顔の瞬間が、温かな絵とともに描かれています。世界中すべての親子が、この幸せな時間を過ごせますように・・・との作者の願いが込められています。
ふまんがあります ヨシタケシンスケ (作) PHP 研究所	わたしは今怒っています。だって大人はいろいろズルい。ちゃんと文句を言ってズルいのをやめてもらおう。そんな思いの女の子が、お父さんにいろいろ不満をぶつけます。お父さんの奇想天外でユニーク極まりない言い訳に、ただただ感心するばかり。「りんごかもしれない」「ぼくのニセモノをつくるには」で、ようちえん絵本大賞常連のヨシタケシンスケさんに、今回も脱帽です。女の子は最後の最後に反撃し、お父さんを黙らせます。
ほうれんそうは ないています 鎌田實 (作) 長谷川義史 (絵) ポプラ社	「あのひ、みえないナニカがぼくらのうえにふってきた」。福島原発事故の有様が、食べられない農産物や魚に思いを寄せて描かれています。おいしく食べてもらおうと丹精込めて作ったほうれんそうや米が食べられない。大切に育てた牛の乳が飲めない、釣ったかれいが食べられない。くやしい、くやしい。医師である作者のメッセージが強烈な色合いと共に伝わってきます。あの大きな事故を語り継ぐため描かれた一冊。

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
<p>びっくりゆうえんち</p> <p>川北 亮司(作) コマヤスカン(絵) 教育画劇</p>	<p>びっくりゆうえんちには楽しい乗り物がたくさんあります。なかでも人気なのは、ジェット・コースター。これに乗れば誰でも奇想天外な冒険の旅に出られるのです。こんなジェット・コースターが本当にあったらどんなに楽しいことでしょうか。実際にはあり得ない乗り物でも、絵本を開けば何度でも私たちを不思議の世界へと連れて行ってくれる。これこそが物語や絵本の素晴らしさであり、醍醐味であります。さあ、あなたもびっくりゆうえんちのジェット・コースターに乗って冒険旅行に出かけてみてはいかがでしょうか？きっと虜になることでしょうか！</p>
<p>ゆきのひのいえで</p> <p>まるやまあやこ(作・絵) 学研教育出版</p>	<p>妹の世話で忙しいお母さん。何かあるといつも叱られるのはまなちゃんばかりです。理不尽な怒りとさみしさで、降りだした雪の中、まなちゃんは家出をします。誰でも一度は経験したことのある、切なく、悲しく、少し大人になったような旅立ちの決意です。でもお母さんはそんなまなちゃんの気持ちをよくわかっています。最後に降りしきる雪の中で、ふたりは堅く、堅く互いを抱きしめ合います。真っ白な初雪がふたりの深い愛と思いやりの気持ちを鮮明に浮き立たせています。</p>
<p>12にんのいちにち</p> <p>杉田比呂美(作) あすなる書房</p>	<p>あさ6時、これから起きるひと、ねむるひと。1日のすごしかたは、ひとそれぞれ。きょうは、どんな1日になるのかな？ささいなできごとから大じけんまで！何が起きているのか、みつけながら、町を1周してみましよう。この絵本には、人物の紹介以外、文字はほとんどありません。12人（10人と1匹と銅像1つ）の一日を、時間の経過とともに追っていきます。2時間ごとの暮らしぶりから12人の声が聞こえてきます。</p>
<p>きょうのおやつは かがみのえほん</p> <p>わたなべ ちなつ(作) 福音館書店</p>	<p>鏡にうつして絵が完成するというおもしろい絵本で去年出版され、子どもたちに大人気となりました。子どもたちが一生懸命本をのぞきこみワクワクする様子が目に浮かびます。低年齢の子どもたちも楽しめます。ゲーム等の機械があふれる中、素朴な“不思議”を子どもたちに感じてもらえればと思います。</p>
<p>しーっ！ひみつのさくせん！</p> <p>クリス・ホートン(作) 木坂 涼(訳) BL出版</p>	<p>ブルーの濃淡を基調とした画面に、鳥の赤が鮮やかに印象付けられます。「青」の色遣いが美しく深みがあり、デフォルメされた人物や木々が単純明快でありながら、その心情や場の雰囲気のが的確に伝わってきます。ちょっとおとぼけでユーモラスな4人組が、静寂な森の中で繰り広げる1羽の鳥の捕獲作戦。その中の小さな男の子に、子どもたちは自分を重ねてお話の世界を楽しむことしましょう。</p>
<p>自然のとびら</p> <p>ケイ・マグワイア(作) ダニエル・クロル(絵) さいとうみわ(訳) アノニマ・スタジオ</p>	<p>「松岡正剛の書棚」という催しの中でこの絵本を見つけました。今まで見たことのないような自然の世界へのお誘いの本です。絵本の中のデザイン、色がとても素晴らしいです！</p>
<p>にちようびの森</p> <p>はたこうしろう(作) ハッピーオウル社</p>	<p>みんなと遊ぶと何でもどこでも楽しかった。今日はどこで遊ぶうか。絵本をめくると、子どものころのそんな思いが蘇ってきます。ところが、みんなと遊んでいた川が工事中で遊べなくなり、次に遊び場になった小川はふたがされ、次なる遊び場になった田んぼには家が建ち、と次々と遊び場を求めて点々とする子どもたち。子どもたちの遊び場の現状も反映されていますが、やっぱり子どもたちは外が、自然が大好きというラストでほっとします。</p>
<p>わたしの「やめて」</p> <p>自由と平和のための京大有志の会(文) 塚本やすし(絵) 朝日新聞出版</p>	<p>平和を祈る心を子どもたちに育てたいと願っている親たち、幼稚園に本書をお薦めしたい。本書は、かつて自由と平和を願うあるグループが発表した「声明書」（こども語訳）に、絵本作家の塚本やすし氏がユニークな絵を添え絵本化したものです。戦争は不可避なのか。戦争はどのように始まるのか。戦争に対して私たちにできることは何か。本書は「なぜ、戦争をしてはいけないの？」という問いにはっきり答える本です。</p>



第7回 幼児教育実践学会

〔 本学会の位置付けは、本財団が主催する実践を中心とした全国研究会です。 〕

第1次案内（予定）

- テーマ 「人生のスタートにこそ良質な教育を」
～保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつづけよう～

- 趣 旨

幼児教育の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、平成22年度、幼児教育実践学会がスタートしました。

本学会では、3つの柱により学会運営を行います。

- ①発表者は、実践を踏まえた研究発表を行い、できるだけ映像等を使用する
- ②参加者は、生きた研修のメイキングの仕方を学び、地区・都道府県から各園に周知する
- ③保育実践者と研究者が共に育ちあう

- 期 日 平成28年8月18日（木）・19日（金）
- 予定会場 東京家政大学 板橋キャンパス（東京都板橋区加賀1-18-1）
- 参加資格 幼児教育関係者
- 定 員 500人
- 参加費 4,000円

大会の流れ（予定）

○第1日目

11:30～	12:30～13:15	13:15～14:45	14:45～15:15	15:15～17:00	17:30～19:00
受付	開会式 表彰式	基調講演	休憩	シンポジウム	保育者と研究者 の交流懇親会

※昼食のご用意はありません。各自でお取りください。

※「表彰式」では、本財団の平成27年度優秀教員表彰者を表彰します。

○第2日目

9:30～11:00	11:00～13:00	13:00～14:30
口頭発表Ⅰ	ポスター発表 昼食	口頭発表Ⅱ

※終了後は各自解散となります。

参加を希望される方へ

- 第7回学会への参加申し込み期間は、平成28年5月9日（月）までです
- 「開催要項」及び「参加申込書」は4月初旬に改めてご案内させていただきます

発表を希望される方へ

【発表資格】発表者は、次の条件を満たしていることが必要です。

- ①幼児教育の実践に携わっていること。或いは、実践を基に研究を行っていること
- ②「口頭発表」（地区・都道府県）は平成28年3月28日（月）までに、「ポスター発表」は5月9日（月）までに申込書・企画趣旨概要を提出済みであること
- ③発表者は大会に参加して発表ならびに討論・質疑応答に参加すること

【研究・発表形態と条件】

- ①保育実践をより豊かにすることを目指すことから、実践を踏まえた研究であること
- ②特に地区からの発表には、保育実践者と研究者が共に育ち合うという意味からも、できるだけ大学等の共同研究者にも参加して頂きたい

- ③研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、参加者が提案事例をより共有しながら進められるように出来れば動画や写真など映像等を用いていく。
- ④既発表のものでも構いません。
- ⑤発表は園児、保護者等の個人情報等の管理等について発表者の責任において行ってください。

【口頭発表（地区・都道府県）】

①申込方法

- ・申込書・企画趣旨概要を都道府県団体事務局へ申し込みを行ってください
- ・締切：平成 28 年 3 月 28 日（月）宛先：各都道府県団体事務局
- ・申込書のフォームは本財団ホームページからダウンロードができます

②発表要領（1セッション90分）

- ・発表時間は1発表につき45分～60分程度、残りの時間を質疑応答協議とします
- ・発表後、座長の進行で討論を行います
- ・討議の時間が十分に取れますように時間配分にご配慮ください
- ・発表に際しては、出来るだけ実践での映像等を用いて参加者が提案事例をより共有しやすいようにしてください（PCは各自持参ください）

【ポスター発表（園・個人・研究者）】

①申込方法

- ・本財団に申込書・企画趣旨概要をメールにて申し込みを行う
- ・締切：平成 28 年 5 月 9 日（月）宛先：info@youchien-kikou.com
- ・申込書のフォームは本財団ホームページからダウンロードができます
- ・普通会员または賛助会員以外の発表者については、発表費として1発表あたり5,000円をいただきます。発表費は参加費をお支払いいただく際にあわせてお支払いください
 - *普通会员は、都道府県私立幼稚園団体に加盟している私立幼稚園です。
 - *賛助会員は、本機構の目的に賛同し、その事業に協力する個人、団体又は企業です。

②発表要領

- ・1セッション120分
- ・発表者は、縦180cm×横90cm（2枚）のスペースに実践研究の要旨・図・表・写真などを貼ったポスターを準備し、会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。セッション時間中は、必ず在席してください
- ・発表ポスターは各自が持参し、2日目に所定の場所に貼り、終了後各自で撤収し、持ち帰りください

【発表区分】

- ・研究発表希望者は、本財団の研修俯瞰図の内容区分から選択してください

【その他】

- ・「開催要項」及び「参加申込書」等の発送は、4月上旬を予定しています
- ・宿泊先の確保、交通チケットなどは各自でご予約ご購入ください



バス専用機不要！
スマホで簡単バス運行管理！

いつもNAVI

「いつもNAVI 動態管理サービスfor送迎バス(くるんとバス)」は、株式会社ゼンリンデータコム登録商標です。

くるんとバス

-通園バス位置情報システム-

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。



株式会社チャイルド社 インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

ロンドン大学教育学研究所幼児児童発達教育センター
Dr. Iram Siraj-Blatchford / 講演概要

幼児教育における学びを支えるリーダーシップの育成

(公財) 全日私幼研究機構 縦断研究チーム
平林 祥

【ヒーローにならない】

実際には、比較的弱いマネジメントとリーダーシップのもとでも“良い”施設があります。そこでは、リーダーがヒーローの仮面をかぶり、全てを一人でこなし、全スタッフの良いモデルになろうと奔走しています。これは良いリーダーとは言えません(過労死につながるだけです)。本当に良いリーダーであるならば、たとえ明日自分がバスに轢かれてしまったとしても、後任が決まるまで園が良い方向で継続して運営されるように準備しておくべきではないでしょうか。

【効果的でないリーダーシップ】

効果的なリーダーシップとは何かを考えるにあたり、効果的ではないリーダーシップを検討していく

のも一つの方法です。リーダーシップの不足によって問題が生じるのはどんなときでしょうか。個人的な資質について言えば、次のものが挙げられます：「情熱を欠いている、同僚を啓蒙できない」「十分な強引さを持たない、臆病である」「他のスタッフと打ち解けられない」「批判と認識されるものを受け入れられない」。このような人を同僚や上司として働いた経験のある人は多いのではないのでしょうか。私の下で学ぶ修士課程と博士課程の学生に、それまでの職歴で出会った効果的でないリーダーの資質を尋ねると、必ず上記の4点が挙げられます。その他の要素としては「決断力が無い」「効率的に仕事を分担することができない」「スタッフの関心事に無関心である」「スタッフを一つにまとめられない」「組織のビジョンや目標について効果的に伝達できな



新しいものを見るたび、触れるたび、
目覚ましく成長する子どもたち。
子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。
育む環境で、子どもたちの明日は変わる。
だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。
好奇心や想像力、勇気や感動。
そして、子ども同士の関わり合い。
子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、
最適な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



い]「同僚である専門家の世話をうまくできない」「整理ができない」が挙げられます。

【良いリーダーのふるまい】

例えば、スタッフの一人が施設の理念を批判したときに、良いリーダーはどのように対応すべきでしょうか。良いリーダーは、スタッフに不満があるときは、往々にしてスタッフとのコンサルテーションの過程が充分でなく、徹底されていなかったことを理解しています。「あなたの意見は興味深いですね」とそのスタッフに伝え、時間をとってその言い分を聞き、なぜそのように感じたかを理解しようとし、自分が充分に伝えられなかったのは何かを分析し、改めて理解を求めて伝えようとする姿勢が必要になります。リーダーシップに関する訓練を受けた人でなければ、そのように振る舞ったり、そのような対応が効果的であると知ることは難しいでしょう。

【効果的な組織、そうでない組織の特徴】

非効果的な組織の重要な特徴として、「ビジョンの欠如」「焦点が定まっていない」「教職員関係の機能不全」の3つが挙げられます。

それに対して、効果的な施設では、「強い目的意識」「学びに関する意思決定への教職員の関与」「指導と学習の過程で専門性を行使して影響を及ぼす（適切

な教材を提供する、幼児教育の適切な知識を行使する、地域に関する情報を適切に用いて子どもに効果的に指導を行う、など）」の共通点が見られます。

私たちの研究では、子どもの成果を上積みすることができた“良い”施設において、子どもの育ちを伸ばすために保育者が何をしているのかを調べました。その後、データを再分析して、どのようなリーダーシップが子どもたちのよりよい成果につながっているのかを調べました。特に顕著な要素として、二つのことが浮かび上がりました。一つは、最高の結果を出すリーダーたちは、学びのリーダーシップに焦点を合わせている、ということです。もう一つは、私が文脈的なリテラシーと呼ぶものです。優れたリーダーたちは、施設に通う子どもたちの生育歴や家庭環境の文脈を理解して、子どもたちに意味のある活動や環境を提供していたのです。

良いリーダーは、強力な行為主体性を発揮し、積極的にその役割を果たします。良いリーダーは、教育や健康安全、特別支援などあらゆる事柄について、「方向性」と「影響力」、「成果の改善」を重視します。

また、学びのリーダーシップが不十分な施設の保育室や遊びのなかでは、「指導のアプローチが一貫していない」「挑戦のしがいのある活動が欠如している」「保育者と子どもの関わりのレベルが低い」「部屋の中が不必要に騒がしい」「批判的な言葉や否定的なフィードバックが頻繁に行われる」などの共通



こども園への移行？ 0・1・2歳児保育を導入？ 保育の質の向上は？

選ばれる園になるために

～変革のビジョンと実践22例～

保育施設の未来がこの本に！

保育施設の“機能と質”を考える。
22園の変革ビジョンとプロセスを一挙公開。

私立幼稚園経営者懇談会・著
248ページ／税込4,320円
世界文化社刊／4061301

株式会社 世界文化社 ワンダー営業本部
TEL：03-3262-5128 FAX:03-3262-6121

点が見られます。

【効果的なコミュニケーション】

リーダーシップの様々な要素の一つに「効果的なコミュニケーション」があります。私たちは、効果的なコミュニケーションがもつ4つの高次の特徴を特定しました。①透明性②互惠性③相談・助言④省察的会話、の4つです。

それらを含めて、リーダーに必要な技能とは、具体的にどのようなものでしょうか。話すこと、励ますこと、問い掛ける、聴くこと、振り返ること、言い換えること、解釈すること、相談・助言すること、議論すること、要約すること、理解すること、認め・評価すること、交渉すること、意思決定すること、検証すること、報告すること、等があります。

私が思うに、効果的なコミュニケーションができる人は、生まれつきそのようなわけではなく、後天的に学習を通して効果的なコミュニケーションの技能を獲得してゆきます。私は、現在ロンドン大学で幼児教育におけるリーダーシップの修士課程を開発しています。そこでは、生徒に課題や宿題を与えるだけでなく、現場に出て研究を進め学位論文を提出するように課しています。例えば、「効果的なコミュニケーションが、学校現場で変化を起こす上で果たす役割」を研究するとして、私たちは生徒がその現場に関与して、計画立案や活動に参加することを奨

励します。なぜならば、その経験を通して、実際の課題が何で、どのような問題が立ち上がり、それにどう対処して解決していくかを本当の意味で学ぶことができるからです。リーダーシップに関する講義を一通り聴講するだけでは不十分です。リーダーに必要なのは、継続的で批判的・省察的な訓練と教育です。私見ですが、それらに必要な経験と学習は、学位レベルや短期コースで実現できるものではなく、修士レベルの課程が必要になります。

【幼児教育におけるリーダーシップはなぜ必要か】

「幼児教育のリーダーシップ」の中心的な目的とはなんのでしょうか？それは「子どもの成果を向上させるための、教育カリキュラムと教師の指導の質」にまつわるものでなければならない、と私は考えます。方向性を示し、影響力を行使することを通して、リーダーはカリキュラムの質と教師の指導の質に影響を与え、間接的に子どもの学習の成果に影響を及ぼすことができます。

遊びに基づいた教育、形式張らない教育を旨とする幼児教育において、これがいかに困難な課題であるか想像できるでしょうか。保護者や社会、政治家は、このアプローチをどれくらい理解して支持してくれるでしょうか。この困難な課題に立ち向かうために、私たちはより高い技能と知識を身につけなければなりません。

ひろみちお兄さんの からだあそび

佐藤弘道 著

からだがつくられる幼児期には、全身の運動能力をバランスよく身につけることが大事。
筋力・瞬発力・柔軟性・平衡性など、身につけた運動能力ごとにあそびを紹介していきます。
補助のしかたや安全のポイントなど、役立つアドバイスもいっぱい、からだあそびの決定版！

じわじわ
どっか〜ん！
体力アップ

楽しく
バランス！
調整力アップ

親子体操

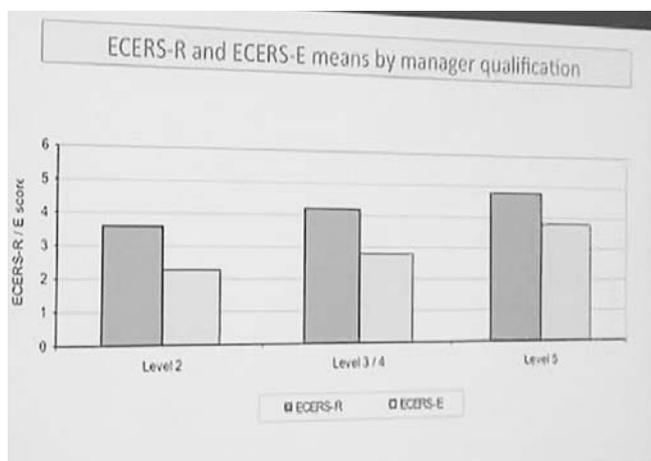
定価 1,944円(税込)
26×21cm/96ページ
発行・発売 チャイルド本社

好評発売中!

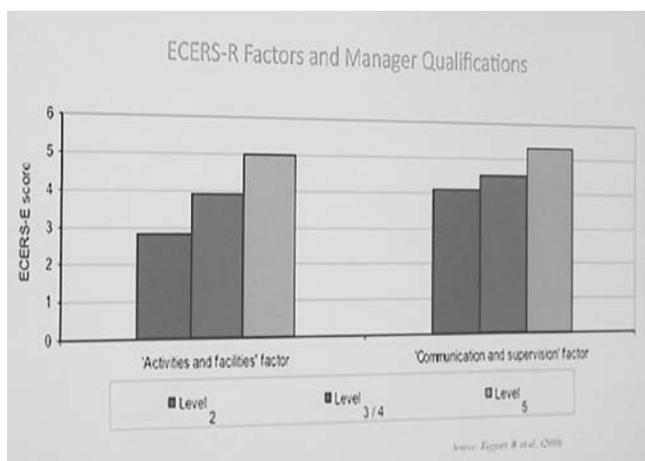
【幼児教育の質とスタッフの資格 / 教育レベルの関係】

幼児教育に携わる者が受けるべき訓練、獲得すべき資格についてお話しします。私たちの研究で「保育環境の質」と「施設マネージャの教育レベル」を調べたところ、レベル2(高卒+α相当)とレベル

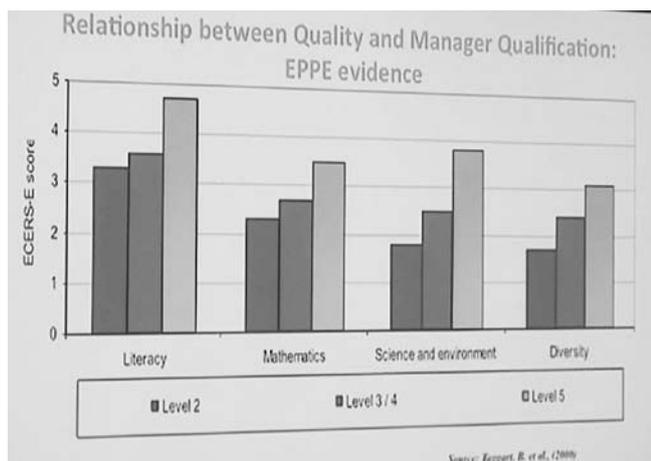
3/4(学位相当)、レベル5(修士相当)で明らかに違いがあり、マネージャの教育レベルが上がるほど、保育環境の質が上がる、というパターンが一貫して見られました。



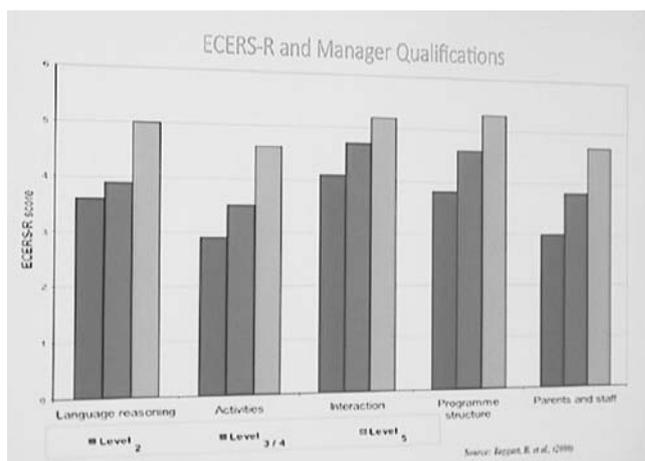
▶マネージャの資格別の ECERS-R と ECERS-E の平均値



▶マネージャの資格と ECERS-R の要因との関係



▶教育の質とマネージャの資格との関係 (EPPE の結果)



▶マネージャの資格と ECERS-R の関係

評価の下位項目別に、施設マネージャの教育レベルを並べても同様の結果が得られました。幼稚園 / 保育所が提供する活動や設備、コミュニケーション、指導監督、言語、論理的思考、社会のごっこ遊びの質、やりとり、プログラムの構造、保護者や教職員との協働、どれを見ても、同じパターンが見いだされず。管理職の教育レベルだけでなく、教職員のなかで各レベルの教育を受けた者の割合を調べ、保育環

境の質と並べても、全く同じ結果になります。より高い教育を受けた教員が多いほど、子どもが経験する保育の質は上がります。また、私たちの研究結果によると、保育の質は子どもの成果の向上に関連していることが明らかになっていますので、幼児教育に携わる者の教育レベルや資格が子どもの育ちに直結することがよく分かりますね。(つづく)

(大阪市・ひかり幼稚園)

新任を育てるための教育課程～わたしたちのころもち～

発表者 ○中島篤史 (学校法人 ひじり学園 認定こども園せんりひじり幼稚園)
 鍛冶和明 (学校法人 ひじり学園 認定こども園せんりひじり幼稚園)

新任を育てるための教育課程をつくろうと思った過程

①新任保育者の実態・・・

新人研修のなかのひとつとして、「1年目の地図」(子ども理解や記録の取り方、環境構成、保護者とのコミュニケーションについてなど)を園長や先輩の保育者と話し合う機会を設けていたが、現場に立ち、その日の保育を振り返ると、新任の保育者は、「子どもの前に立ったけど話を聞いてくれない」「時間配分が難しい」「全体に関わる時間と個々に関わる時間の取り方が難しい」「分からないことが分からない」など、楽しいと感じることよりも、日々の保育での悩みが多く、保育を楽しめずに自信が持てずにいる姿が見られることがあった。

②以前の先輩保育者の思い・・・

先輩の保育者の願いとして、クラスの担任として子どもの前に立ち、全体に目を配りながら保育を進めていって欲しい！新任の保育者を育てないと！という焦りや葛藤という思いがあった。

③園内研修にて・・・

自園では学期末に、園の課題を経験年数や得意分野、年代などに分かれチームとして考え発表する場を設けている。学期末の振り返りの中で、1年目の新任チームにファシリテーターが入り、仕事での喜び・やりがい・悩み・不安などを付箋に書き出し話し合った。

一方、新任と一緒に組んだ先輩チームでは、新任に経験して欲しいこと・先輩としてのころもち・などを話し合った。

④振り返りの中で感じたこと・・・

保育者が保育って楽しいな、子どもたちかわいくなって思える土台があってこそ、次の一步を踏み出せるのではないだろうか。

新任一人ひとりの性格や個性によって、私たちの考えた新任の教育課程に必ずしも当てはまるとも言えないが、新任と関わる先輩のころもちを重点に置き関わりたいと思う。

自園の保育者は長年勤めており、働きやすい同僚性も培っていると感じる。新任の実態と新任に関わる先輩の配慮やころもちをまとめたものを作ればきっと園の財産となるのではないかと思い、新任を育てるための教育課程(図1)をつくることとなった。

(図1)

	I期(4月)	II期(5～7月)	III期(9～12月)	IV期(1～3月)
	なにもかもが不安	日々のやることに追われて必死	保育(行事)に追われながらも保育を楽しみたいという意欲をもつ	子どもの成長を喜びと共に自信を持つ
新任先生の実態	喜び・やりがい ・子どもたちがかわいくて救われる ・絵本と一緒に笑って読めた	・保護者から離れられなかった子どもが保育者のところへ笑顔で来てくれた ・園で排泄できなかった子どもができるようになった	・子どもと一緒に楽しめる時間が増えた ・学期よりも保護者と話せた	・子どもと一緒に集団遊びをすることが楽しい ・集団と個々との関わりの時間を大切に感じている
不安・悩み	・わからないことがわからない ・ひきつけられる技術がない ・気持ちに余裕がない ・全体と個々の声掛けや援助のバランス ・子どもの前に立つと緊張して固まってしまう ・子どもへの関わり方がわからない	・ケンカやトラブルの仲裁の仕方がわからない ・全体に声が通らない ・給食の援助がこまでしつらいのかわからずつききりになってしまう ・時間配分が難しい	・伝えたいポイントをまとめられず、伝わらない ・臨機応変に判断できずおろおろ ・仕事の優先順位の見極め	・苦手なことは頼ってしまう ・盛り上がった遊びの区切りのつけ方がわからない
先輩の配慮・関わり	・出来なくても責めない ・ヘアの先生と話しやすい雰囲気 ・頑張っているところ、褒められるポイントを見つけて	・同世代、近い存在の先輩にフォローをお願いする ・その日の振り返りとアドバイスを大切に	・行事では「自分で進めないと」思えるように見守り補っていく ・まだ視野が狭いので周りに気付くよう声を掛ける	・個々の成長を喜び不安なことは一緒に手立てを考える ・保育中、自分で考えて動けるように見守る ・時間に追われ焦る経験も時に応じてやってみる
子どもとの関わり	・挨拶だけでOK(できることから) ・笑顔で子どもたちの前に立てるだけでOK ・毎日来てくれるだけでOK	・子どもたちの前で話しやすい雰囲気を作ってからパトタッチ ・子どもたちと遊ぶ中で信頼関係が深まるように子どもと関わる時間を持つようにする	・ケンカの仲裁に時間がかかるが任せっきりせず最後まで確認する	・頑張る姿を見守り、困ったことがあれば必要に応じてフォロー
保護者との関わり	・はじめの一週間で全員の保護者に電話連絡 ・信頼関係が築けるように細かいチェックを一緒に行う		・保護者からの相談、悩みを聞き一緒に考える	・子どもの成長と共に変化する保護者からの悩みに一緒に考える

新任の悩みを一緒に考える先輩

新任の先生から室内のコーナーについての悩みがよくあげられる。その悩みについて実際に行われているやりとりを紹介します。

先「今日の子どもたちの遊ぶ姿見て、何か感じたことある？」

新「う～ん、そうですね～・・・。」

先「昨日の振り返りで新しいおもちゃ出してたけどどうやった？」

新「あっ！あまり子どもたち遊んでなかったです。」

先「ん～、なんでやるねえ。なんでやと思う？」

新「何も言わず出したので遊んでいいのかわからなかったからですかね。」

先「そっかあ。それなら声かけても良かったかもね。他には??」

新「・・・う～ん。」

先「今の子どもたちってどんなことに興味持ってる??」

新「積木やままごとのところでよく遊んでいますね。」

先「よく見てるね！子どもたち遊び込めてる？」

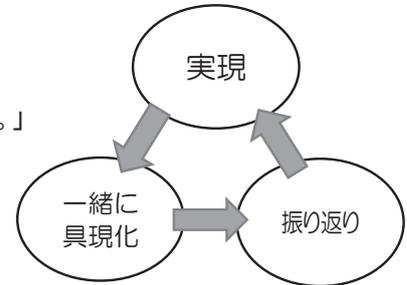
新「今日はままごとを一緒にしてて、私が一緒にいないとなかなか続かなかったです。」

先「先生と一緒に遊ぶのが今の子どもたちは楽しいんやろな。」

経験して欲しいって思って(新しく出したおもちゃ)出したんやし、

明日、私がほかの遊びにつくから、先生が声掛けて一緒に遊んでみる？」

新「そうですね。やってみます！」



保育後、子どもの姿から先輩と新任とで一日の保育を振り返り、その中での悩みや難しさに対してすぐにアイデアや答えを出すのではなく、新任自ら思っていることを引き出し、気づけるように投げかけ、全て任せるのではなく、共に考え実践に移せるように関わっている。

まとめ

みんなが育つ幼稚園でありたい「家族のように先生を大切にする」

～保育者が育ち合う関係性とは～

新任の保育者に、「自分の意見をいいなさい」「考えや思いを出しなさい」といっても、言えたり出せたりするのだろうか。

保育をする時に私たちはひとりひとりの育ちや思いに寄り添いながら、子どもたちと「どう関わる？」の前に「どんな子？」と考えるようにしている。

それは新任の先生にも同じことが言えるのではないだろうか。

また、自園では新任の保育者が主体性を発揮出来るように、職員間の同僚性、居心地の良い雰囲気作りを大切にすることを心がけている。

新任と先輩の関わりによって、失敗が恐いなあと思ったり、保育をしないといけないと義務として思ったりするのではなく、保育って楽しいと思えるように関わることが大切であると考えている。

私たちが新任の先生と関わる時の姿勢として、「こころもちや具体的な配慮」をこれからも学び実践していきたいと思っている。

教育学者ウィリアム・ウォードという人がこういう言葉を残している。

「平凡な教師は言っただけで聞かせる。よい教師は説明する。優秀な教師はやってみせる。しかし最高の教師は子どもに心に火をつける。」

自らがやろう、やりたいと思う気持ちに勝るものはない。その気持ちを持つことが出来れば、自然と動きは変わってくるのではないだろうか。

人それぞれ違う、やる気のポイントを見つけ刺激していき、今後共に働くであろう先生たちと、お互いが育ち、学び合える関係でいたいと思う。

○私立幼稚園に対する助成状況調査

平成27年度 経常費等補助単価

都道府県名		学法・学法予定	学法・学法予定以外の金額、名称	
北海道		178,805		
東	青森	178,435		
	岩手	176,302		
	宮城	173,702	71,045	教育振興費
	秋田	179,554		
北	山形	182,003	48,250	経常費
	福島	178,975	59,650	運営費
関	茨城	192,435		
	栃木	183,300	39,100	教材費等補助
	群馬	196,973	83,390	幼稚園振興費
	埼玉	178,830	48,960	運営費
東	千葉	182,235	1園 810万円	教育振興事業費
	新潟	194,697		
山梨		182,795		
東京		189,383	45,309	教育振興事業費
神奈川		147,191	36,070	経常費
東海・北陸	富山	178,435	1園 40万円	設備整備費
	石川	195,750		
	福井	178,235		
	長野	182,795	16,000	教育活動事業費（私幼団体）
	岐阜	192,843		
	静岡	188,185		
近畿	愛知	178,435	70,700	経常費
	三重	178,579		
	滋賀	168,000		
	京都	203,690	48,192	教材費等補助
畿	兵庫	185,723	51,100	経常費
	奈良	187,500		
和歌山		185,000		
大阪		178,435	53,500	教育研究費等補助
中国	鳥取	170,302		
	島根	168,702		
	岡山	171,883		
	広島	188,567		
四国	山口	186,000		
	徳島	183,697		
	香川	186,053	14,800	教材教具費
	愛媛	179,143		
九州	高知	178,435		
	福岡	188,935	30,000	経常費
	佐賀	182,518		
	長崎	181,074		
	熊本	178,975		
	大分	178,435		
州	宮崎	178,337		
	鹿児島	183,516		
沖縄		179,251		

注) 金額は園児1人あたり年額(単位:円) / 当初予算・補正見込み分を含む。

注) 都道府県私学担当課からの報告による。平成27年5月1日現在、全日私幼連調べ

平成27年度 私立幼稚園に対する都道府県補助状況

都道府県名	費目	金額(千円)		対象・単価・条件等(平成27年度)
		26年度	27年度	
北海道	管理運営対策費	10,918,828	8,609,461	学法・園児1人(特別支援を含まない)178,805円
	管理運営対策費(新制度移行分)	—	114,268	新制度移行園に対する継続補助
	管理運営対策費(特別支援教育対策推進費)	577,809	676,761	3人以上就園の場合:589,000円/人
	子育て支援対策事業費	52,407	69,808	幼児教育の質の向上のための環境整備
	耐震化促進事業	400,190	415,000	耐震改築、認定こども園(予定含む)
青森	経常費	1,478,009	688,760	学法・園児1人178,435円
	特別支援教育費	49,051	49,392	園児2人以上園児1人784,000円
		3,528	9,016	園児1人392,000円
	特色教育支援経費	162,259	140,468	預かり保育、子育て支援活動
	被災幼児生徒授業料等減免事業費	578	1,847	授業料等納付金21,000円/月額、入学金30,000円
	認定こども園耐震化促進事業費	—	100,000	学法運営の認定こども園の耐震改修等経費
	認定こども園整備事業	—	121,043	修理等に要する経費
	教職員等研修事業費	800	800	私幼団体
	緊急環境整備補助	13,272	9,872	幼児教育の質の向上のための環境整備
岩手	運営費	1,783,512	1,101,324	学法・園児1人176,302円
	特別支援教育費	107,408	119,168	学法・2人以上園児1人784,000円
				学法・1人園児1人392,000円
	教育改革推進特別経費	266,200	186,500	預かり保育、子育て支援
	被災私立学校復興支援事業	2,722	6,353	
	被災児童生徒就学支援事業	17,850	35,658	
	私立学校耐震化支援事業	1,593	1,622	
	子どものための教育・保育給付費	—	204,082	市町村が実施する施設型給付費の地方単独分の支給に対する補助
子ども・子育て支援交付金	—	1,377,623	市町村が実施する地域子ども・子育て支援事業に対する補助	
宮城	運営費	4,583,612	4,229,123	学法・園児1人173,702円
	教育振興費	155,654	78,221	学法以外・園児1人71,045円
	特別支援教育教育費	210,112	222,656	学法・2人以上園児1人784,000円
	特別支援教育教育費	14,112	16,856	学法・学法以外1人園児1人392,000円
	教育改革推進特別経費	289,002	290,680	学法・預かり保育、防災教育推進
	預かり保育推進事業	16,350	10,365	学法以外・預かり保育、防災教育推進
	私立学校授業料等軽減特別事業	1,384,352	1,500,000	震災被災者の保育料、入園料、施設整備費減免(他校種分を含む)
	緊急環境整備補助	11,036	7,300	
	被災私立高校等教育環境整備支援特別事業	173,496	197,000	震災の影響による収入減少額の9割を補助(他校種分を含む)
	私立学校施設設備災害復旧支援事業	2,297	69,942	震災に起因する施設設備被害の復旧工事(他校種分を含む)
退職手当資金給付事業	75,068	80,705		
秋田	運営費	1,155,878	300,002	学法、園児1人179,554円
	特別支援教育費	63,769	70,298	学法、社福・2人以上園児1人784,000円
				学法、社福・1人園児1人392,000円
				その他立・園児1人65,000円
山形	預かり保育推進事業費	120,688	48,000	預かり保育
	認定こども園拡充事業	920	1,168	認定こども園サポート事業等
	経常費(私立学校一般補助金)	2,095,405	2,090,350	学法・園児1人182,003円
		2,702	5,343	学法以外・園児1人48,250円
福島	耐震化促進事業費	219,043	356,425	耐震補強1/3、新築・改築1/10
	被災児童生徒等就学支援事業費	3,320	17,166	被災園児に対する入園料、保育料の減免措置
	運営費	3,275,869	2,338,862	学法・園児1人178,975円
福島	子育て支援推進事業	317,191	226,000	預かり保育
	心身障がい児教育費	204,933	227,948	学法・園児1人392,000円、2人以上784,000円
	教育振興事業	60,386	45,565	学法以外・園児1人59,650円、心身障害児園児1人392,000円、2人以上784,000円
	設備整備事業	150	279	災害復旧経費
	被災園児就園支援事業	47,068	81,323	被災園の保育料補助
	被災私立学校復興支援事業	387,411	427,372	減収分の一部を補助
	認定こども園支援事業	18,739	72,800	子育て支援
	未来の子どもを守る食の安全確保事業	2,856	3,810	給食食材の放射性物質測定機器の整備等
	心と体いきいき事業	13,709	34,200	園児の体力向上等
	認定こども園等の環境整備事業	21,397	48,167	環境整備

都道府 県名	費 目	金額（千円）		対象・単価・条件等（平成27年度）
		26年度	27年度	
茨城	経常費	5,144,809	1,577,581	学法・園児1人 192,435円
	預かり保育推進事業費	178,714	45,332	
	特別支援教育補助事業費	296,744	321,832	学法・2人以上園児1人 784,000円 学法・1人園児1人 392,000円
	被災児童生徒等授業料減免補助	83	1,583	
	認定こども園等教育支援体制整備事業	59,537	97,000	質の高い幼児教育・保育を確保するための環境整備事業
	認定こども園等整備事業	141,628	290,083	認定こども園等の施設整備補助
	幼稚園耐震化促進事業	124,889	189,528	耐震化促進のための補助
栃木	運営費	5,601,786	3,917,961	学法・園児1人 183,300円
	教材費等補助	12,278	8,602	学法以外・園児1人 39,100円
	地域子育て推進事業費	323,350	151,360	子育て支援に対する助成
	特別支援教育費	440,804	471,184	学法・2人以上園児1人 784,000円 上記以外・園児1人 392,000円
	被災幼児保育料等減免補助	500	2,076	被災園児保育料等減免事業
	耐震化促進事業費	741,435	1,429,872	耐震化事業に対する補助
	緊急環境整備事業	56,655	48,257	遊具・研修等
群馬	教育振興費	3,146,180	1,608,487	学法・園児1人 196,973円 学法以外・園児1人 83,390円
	預かり保育推進事業費	103,273	79,870	預かり保育 60,300千円、長期休業日預かり保育 19,570千円
	子育て支援推進事業費	53,758	25,800	
	特別支援教育経費	53,309	49,392	
	耐震診断促進費	2,411	3,621	
	耐震化促進事業費	148,171	180,000	認定こども園施設交付金事業
	幼児教育質の向上のための緊急環境整備事業	18,701	13,364	教育支援体制整備
	移行園支援特別補助	—	112,134	新制度へ移行した園への補助
埼玉	運営費	19,314,841	18,584,958	学法・園児1人 178,830円（満3歳児 89,415円） 学法以外・園児1人 48,960円（満3歳児 24,480円）
	保育料軽減事業	51,597	77,682	家計急変世帯：園児1人 221,000円
	被災児童生徒授業料減免事業	9,751	17,413	家計急変世帯：園児1人 350,547円
	耐震改修事業費	129,595	633,450	耐震改修（学法）
	特別支援教育費	602,575	686,980	学法・2人以上園児1人 784,000円（5/1又は10/1在園 392,000円） 学法以外、学法1人園児1人 392,000円（5/1又は10/1在園 196,000円）
	子育て支援事業	11,750	11,965	子育て支援事業（幼稚園）、相談事業（私幼団体）
	幼児教育質の向上のための緊急環境整備事業	86,863	135,870	
	新規採用教員研修促進事業費	4,005	4,005	私幼団体
	認定こども園移行耐震化促進事業費	1,045,579	1,325,850	改築・増改築
	千葉	経常費	14,148,487	13,842,815
特別支援教育経費		356,279	359,000	学法・2人以上園児1人 784,000円 学法・1人園児1人 392,000円
「親と子の育ちの場」推進経費		363,426	375,000	学法・預かり保育、子育て支援活動
教育振興事業		149,004	161,600	学法以外・1園 8,100,000円
特別支援教育振興事業		9,212	9,800	学法以外・2人以上園児1人 392,000円 学法以外・1人園児1人 196,000円
被災者・避難者保育料等減免補助		354	650	
耐震化緊急促進事業		142,937	957,000	改築、耐震補強、耐震診断（他校種含む）
保育教諭確保のため幼稚園教諭免許状取得支援事業		—	3,920	受講料、経費の1/2（上限10万円）代替幼稚園教諭雇上費1日6,120円/1人
新潟	振興補助	2,500,059	1,315,227	学法・園児1人 194,697円 新制度移行園・園児1人 17,600円
	教育改革推進特別経費	194,618	121,044	預かり保育
	特別支援教育費	67,620	71,344	学法・2人以上園児1人 686,000円 学法・1人園児1人 343,000円
	子育て支援推進事業	27,458	28,600	子育て支援事業（子育て相談等）幼稚園 400,000円 認定こども園 500,000円
山梨	運営費	1,129,281	602,651	学法・園児1人 182,795円
	障害児就園事業	35,084	38,220	学法・2人以上園児1人 784,000円 学法・1人以上園児1人 196,000円

都道府 県名	費 目	金額(千円)		対象・単価・条件等(平成27年度)
		26年度	27年度	
東 京	経常費	19,910,203	17,209,853	学法・学法予定・園児1人189,383円
	教育振興事業費	2,018,801	1,157,257	学法以外・園児1人45,309円
	特別支援学校等経常費	1,424,488	1,665,477	学法・学法予定・2人以上園児1人392,000円
	特別支援教育事業費	164,248	184,632	全幼・1人以上園児1人392,000円
	安全対策促進事業費	5,641,537	8,879,159	全幼・防災機能の強化等(小中高専各を含む)
	預かり保育推進補助	590,335	1,134,754	全幼・教育条件の維持向上等
	園児保護者負担軽減事業費	5,068,683	5,457,962	園児1人28,800～74,400円
	教育研究費	83,475	72,905	教職員の資質向上
	省エネ設備等導入モデル事業費	205,704	300,000	全幼・CO2削減、電力不足に対する節電、防災力の向上(小中高を含む)
	認定こども園整備費等補助	874,758	571,839	教育、保育等の総合的なサービス提供の推進
	環境整備費	144,931	209,206	全幼・幼児教育の質向上の環境緊急整備
	被災生徒等臨時支援金	2,208	2,425	東日本大震災で被災し都内私幼に転入等した園児・保護者(小中高専を含む)
	被災生徒等授業料等減免事業	111,261	145,671	東日本大震災に起因する家計急変園児への授業料等減免(小中高専各を含む)
	特色教育等推進補助	—	62,667	新制度移行園に対する従来の経常費(特別補助)事業
	私立幼稚園等一時預かり事業費補助	—	96,876	幼稚園型一時預かり事業費を私立幼稚園等に補助
	認定こども園新制度移行園支援特別補助	—	874,883	新制度への円滑な移行を目的
	施設型給付費負担金	—	3,436,906	
神 奈 川	経常費	15,681,657	14,450,252	学法、学法予定・園児1人147,191円 学法、学法予定以外・園児1人36,070円
	預かり保育推進費	676,480	644,600	預かり保育
	地域開放推進費	167,583	192,800	学法、学法予定・園地園舎開放
	特別支援教育費	1,441,384	1,678,936	学法、学法予定・2人以上園児1人784,000円 学法、学法予定・1人園児1人392,000円
	施設耐震診断調査費	4,828	12,772	
	認定こども園移行耐震化促進事業	455,510	521,923	
	緊急環境整備費	148,427	161,063	遊具等整備
富 山	経常費	1,041,369	719,840	学法・園児1人178,435円
	教育振興費	29,476	29,086	預かり保育、障害児受入れ
	設備整備費	800	800	学法以外・1園400,000円
	教育環境整備事業費	1,899	1,641	学法・1園限度500,000円
	園舎リフレッシュ事業費	—	5,000	増改築、大規模改造
	保育料軽減事業費	5,212	21,071	第3子以降の3歳児1/2・4歳児1/3
	地震対策緊急整備事業費	—	13,334	国庫補助耐震化経費1/6上乗せ補助
	教育支援体制整備事業	—	10,000	幼稚園1/3、認定こども園1/2
石 川	経常費	1,558,247	1,449,725	学法・園児1人195,750円
	障害児就園対策費	97,216	113,680	学法・2人以上園児1人784,000円
	預かり保育推進費	36,246	33,358	学法・預かり保育
	教育環境整備費	47,209	28,757	学法・増改築1/6、園舎改修1/3又は1/2
	子育て支援推進費	8,378	10,000	学法・人件費等補助：限度額200,000円
	私学振興会資金利子補給金	—	395	学法・利子補給
	団体補助	3,800	4,300	私幼団体
	施設型給付	—	71,782	
保育士資格取得支援事業	—	336		
福 井	教育振興費	594,403	455,174	学法・園児1人178,235円
	特別支援教育事業費	101,413	105,503	学法・2人以上園児1人784,000円
	預かり保育推進事業費	67,488	56,200	学法・預かり保育
	2歳児受入推進補助費	29,484	36,000	2歳児の受入にあたり専任教員等がいる場合
	耐震化推進事業	3,602	17,107	耐震診断、耐震補強、耐震改築
長 野	教育振興費	2,144,759	1,795,236	学法・園児1人182,795円
	教育活動事業	1,296,000	1,120	学法以外(私幼団体)園児一人当たり16,000円
	施設型給付費負担金	—	221,571	
	認定こども園等の環境整備事業補助	20,068	157,660	学法以外(私幼団体)

都道府 県名	費 目	金額(千円)		対象・単価・条件等(平成27年度)
		26年度	27年度	
岐 阜	教育振興費	3,678,482	3,576,089	学法・園児1人192,843円
	連合会補助	270	270	私幼団体
	P T A連合会補助	180	180	私幼P T A連合会
	子育て支援事業	360	360	私幼団体(子育てフォーラム等)
静 岡	経常費	7,645,354	6,722,642	学法・園児1人188,185円
	障害児教育費	155,232	163,072	学法・2人以上園児1人784,000円
	子育て支援事業費	160,790	145,000	預かり保育:学法
	地震対策緊急整備事業費	9,519 44,672	11,000 300,000	子育て支援:学法・上限300,000円 学法・耐震園舎改築、補強
愛 知	経常費	15,345,012	15,137,117	学法・園児1人178,435円
	特別支援教育費	705,927	839,965	学法以外・園児1人70,700円 学法・2人以上園児1人784,000円 学法・1人園児1人392,000円 学法以外・2人以上園児1人274,400円 学法以外・1人園児1人182,900円
	施設整備費補助	11,945	1,000,000	幼小中高総額、耐震改築・大規模改築、アスベスト対策(26年度額は幼稚園分)
	授業料等軽減補助	6,007	8,800	第3子以降の満3歳児の授業料等無料化
	私学団体補助	240	220	私幼団体
	借入金償還補助	128,785	80,868	施設設備整備費
	教育支援体制整備事業費	43,796	50,000	安心子ども基金からの振替
	三 重	振興補助	1,907,304	1,813,203
預かり保育等推進事業	32,613	24,320		
子育て支援事業	17,142	17,800		
心身障がい児地域支援事業	59,976	66,248		
緊急環境整備事業補助	10,278	13,167	学法・遊具等整備補助	
滋 賀	振興補助	607,947	394,200	学法、学法以外・園児1人168,000円
	特別支援教育事業費	102,930	105,420	学法・2人以上園児1人753,000円
京 都	運営費	4,871,704	4,763,084	学法・園児1人203,690円
	教材費等補助	26,395	22,120	学法以外・園児1人48,192円
	幼児教育振興補助	1,585	1,094	学法以外
	保育料軽減補助	11,749	7,533	学法以外
	心身障害児教育費	468,048	471,968	学法・2人以上園児1人784,000円
	同時在園保育料減免事業	36,962	48,022	同時在園(2人以上)
	預かり保育推進特別補助	301,880	300,640	学法
	未入園児一時保育事業費	25,468	26,600	学法・1園200,000円、学法以外・1園100,000円
	施設耐震診断調査費	6,881	18,877	耐震診断2/3
	施設緊急耐震化支援事業費	12,275	35,640	耐震補強1/6以内
	保育料減免緊急支援事業費	458	1,500	減免事業に要する経費の3/4以内
	被災幼児児童生徒授業料減免事業	216	274	東日本大震災被災児の保育料等の減免
	子育て環境整備事業	—	141,264	移行予定園の増改築等に要する経費1/2
兵 庫	経常費	8,334,078	5,581,271	学法・園児1人185,723円 学法以外・園児1人51,100円
	経常費特別補助(預かり保育推進)	415,930	348,750	預かり保育推進
	認定子ども園への移行促進事業	—	83,786	学法・認定子ども園
	認定子ども園特色教育推進事業	—	74,760	学法・認定子ども園
	預かり保育延長促進事業	3,900	6,900	預かり保育:平日19時に加えて1時間以上延長(教員2名以上)
	長時間等預かり保育移行促進事業	6,704	26,652	預かり保育:平日及び長期休業日7時~19時
	長時間等預かり保育推進事業	223,449	142,841	預かり保育:早朝・夕方、休業日
	親子学級開設費	32,580	32,760	
	特別支援教育振興費	229,320	231,672	
	地域わくわく陽だまり活動事業	53,185	45,560	在宅幼児に対する特色ある幼児教育の実施
	2歳児子育て応援事業	132,320	167,072	
	乳幼児子育て応援事業	44,200	44,850	乳幼児子育て応援事業(子育てサロン)
	高校生保育体験推進事業	1,914	1,800	
	多子世帯保育料軽減事業	40,396	34,712	第3子以降の保育料軽減補助
	幼児保育料軽減臨時特別補助事業	1,038	2,400	東日本大震災被災児の保育料減免
	緊急環境整備等補助事業	55,539	139,360	遊具等整備補助
	預かり保育特別支援推進事業	50,000	50,000	

都道府県名	費目	金額(千円)		対象・単価・条件等(平成27年度)
		26年度	27年度	
奈良	教育経常費	1,107,700	1,176,375	学法・園児1人187,500円
	心身障害児教育振興費	43,261	50,176	心身障害児の就園促進
	教育改革推進特別経費	8,735	17,100	子育て支援の促進
	運動場芝生化補助	—	9,000	体力向上の目的
	耐震化緊急促進事業 緊急環境整備事業	— 8,591	150,000 12,000	幼児教育の質の向上
和歌山	経常費	1,129,494	1,048,909	園児1人185,000円
	障害児教育教育費	38,808	35,280	2人以上園児1人784,000円 1人以上園児1人392,000円
	預かり保育推進事業	79,260	59,776	預かり保育
	子育て支援特別対策	538,832	103,937	認定こども園の施設整備費補助
	認定こども園施設整備交付金 教育支援体制整備事業	— —	245,940 7,983	認定こども園の教育機能部分の施設整備補助 遊具等環境整備
大阪	経常費	17,773,035	14,855,072	学法・学法予定・園児1人178,435円、3歳児特別13,500円
	教育研究費等補助	107,158	46,139	学法以外・園児1人53,500円、3歳児特別4,000円
	特別支援教育費	646,016	660,912	2人以上園児1人784,000円
	キンダーカウンセラー事業	31,060	35,000	
	耐震化緊急対策事業費	297,564	1,535,129	※ 予算額は全学校種計
	非構造材耐震対策促進事業	170	1,340	※ 予算額は全学校種計
	預かり保育に係る補助事業(移行支援型)	—	450,960	認定こども園移行園
鳥取	運営費	644,316	374,323	学法・園児1人170,302円
	子育て支援・預かり保育推進事業	84,339	54,303	預かり保育、休業日預かり保育、子育て支援活動
	特別支援教育研究推進事業	57,648	58,016	1人以上園児1人784,000円
	同時在園保育料軽減事業	8,378	5,029	同時在園、法人減免額の1/3(保育料の1/2減額が限度)
	第3子保育料軽減子育て支援事業	21,525	23,896	第3子以降、保育料の1/4
島根	振興費	101,829	85,190	学法・園児1人168,702円
	施設型給付費補助	—	16,916	
岡山	経常費	1,021,100	821,429	学法・園児1人171,883円
	教育改革等推進補助	85,868	75,942	預かり保育、子育て支援活動、特別支援教育の推進
	認定こども園整備事業費補助金	56,479	93,669	施設整備補助
	耐震化整備事業 緊急環境整備事業補助	37,991 7,321	205,075 7,256	認定こども園移行園への耐震化 遊具等環境整備
広島	経常費	5,658,896	4,887,048	学法・園児1人188,567円
	幼児教育の質向上環境整備事業	13,738	9,718	教育支援体制の整備
	耐震化促進事業	417,668	439,727	認定こども園移行園への耐震化
	耐震化緊急促進事業	2,242	34,758	耐震補強工事の一部経費を補助
山口	運営費	2,697,000	1,868,370	学法・園児1人186,000円
	預かりサポート推進事業	302,682	290,678	預かり保育、休業日預かり保育、特別支援教育
	地域子育て支援事業	23,298	23,800	地域開放・1園1,000,000円限度
	耐震化促進事業	12,189	164,179	耐震診断、補強・改築工事
	耐震化促進利子補給事業	504	1,119	耐震化工事に対する利子補給
	教職員研修補助	181	147	私幼団体(教職員研修事業補助)
徳島	運営費	246,880	197,658	学法・園児1人183,697円
	経常費	1,001,848	1,004,520	学法・園児1人186,053円
	特色教育チャレンジ支援事業	70,491	102,640	学法・預かり保育、子育て支援等
	特別支援教育費	62,720	66,640	学法・2人以上園児1人784,000円
	認定こども園整備事業	1,000	105,250	学法・認定こども園設置促進
	教員研修費 連盟補助	23 600	54 600	学法、個人立、幼稚園型・幼保連携型認定こども園
愛媛	運営費 (特別支援教育)	2,752,330	1,717,616	学法・園児1人179,143円(満3歳児107,486円)
	子育て総合支援事業	131,885	80,075	学法・2人以上園児1人392,000円、1人以上園児1人179,143円 学法・預かり保育、子育て相談、園舎開放等
高知	運営費	537,036	281,126	学法・園児1人178,435円
	子育て支援推進事業費	78,040	96,574	学法・子育て支援事業
	特別支援教育費	25,480	32,928	学法・1人以上園児1人392,000円
	耐震化促進事業費	710	71,855	耐震対策
	耐震診断事業費補助	4,859	3,149	
	安全確保事業費補助	—	669	
	緊急環境整備事業補助	2,259	6,007	遊具等整備助成
	保育料減免補助	—	94	東日本大震災被災園児の就園料等減免

都道府県名	費目	金額(千円)		対象・単価・条件等(平成27年度)
		26年度	27年度	
福岡	経常費	11,590,699	10,992,091	学法・園児1人188,935円
	(特別支援教育加算)	(177,184)	(154,056)	学法・学法予定・1人以上園児1人392,000円
	経常費特別補助(教育改革推進特別経費)	224,050	101,528	子育て支援活動の推進@80,000円~1,380,000円/1園
	経常費特別補助(新制度移行幼稚園支援)	—	90,942	新制度移行園に対する一部事業補助 教材費・体験教育推進加算・特別支援教育加算
	保育料軽減	60	713	東日本大震災幼児の保育料軽減
	振興協会補助	9,650	9,950	私幼団体(研修事業補助)
	設備費補助	44,258	58,517	幼児教育の質向上のため経費の一部を補助(1/2・1/3)
	耐震化促進補助	6,273	415,408	耐震化に対する補助(H27は幼小中高含む予算)
佐賀	運営費	1,675,741	726,100	学法・園児1人182,518円
	特別支援教育費	131,856	123,480	学法・2人以上園児1人784,000円
				学法・1人園児1人392,000円
	教育改革推進特別経費	231,856	133,345	預かり保育、子育て支援
	私立学校指導者研修事業費	1,000	1,000	研修費
	被災幼児就園支援事業費	253	724	東日本大震災被災幼児への就園奨励事業
	私立学校施設設備整備補助	22,928	24,875	耐震化、施設・設備整備
長崎	教育振興費	2,303,165	1,094,015	学法(社福)・園児1人181,074円
	同時在園負担軽減補助	30,888	20,592	学法(社福)・第2子園児1人2,000円以内
	特別支援教育費	113,779	107,408	学法(社福)・2人以上園児1人784,000円
	預かり保育推進事業費	217,956	26,880	学法(社福)
	子育て支援活動推進事業費	84,238	128,500	学法(社福)・幼稚園1,600,000円上限、認定こども園2,000,000円上限
	幼児教育質向上のための緊急環境整備事業	23,321	58,910	幼稚園666,000円上限、認定こども園1,000,000円上限
熊本	経常費	2,494,711	1,741,426	学法・園児1人178,975円
	特別支援教育経費	135,548	149,352	学法・2人以上園児1人784,000円以内
				学法・1人園児1人392,000円以内
	子育て支援事業	119,707	68,319	学法・預かり保育、子育て支援
	連合会研修費	753	715	私幼団体
	耐震化促進事業	2,961	82,999	耐震診断、耐震補強工事、耐震改築工事
	認定こども園幼稚園機能整備事業	—	172,981	
保育教諭確保のための幼稚園免許取得支援事業	—	630		
大分	運営費(一般)	1,537,037	818,922	学法・園児1人178,435円
	運営費(特別支援教育費)	56,448	67,032	学法・2人以上園児1人784,000円
				学法・1人園児1人392,000円
	運営費(教育改革推進特別補助)	89,606	45,520	預かり保育、子育て支援
	団体補助	1,127	532	研修費
	保育料減免補助	21,206	11,310	2人以上同時在園減免
宮崎	振興費	1,790,424	662,886	学法・園児1人178,337円
	預かり保育推進事業	99,094	33,710	
	特別支援教育経費補助事業	21,560	35,084	1人就園・3,724千円(県単)
				2人以上就園・31,360千円(国1/2、県1/2)
	教育改革推進特別経費補助事業	3,876	4,000	補助対象経費が20万円以上、補助率1/2
	東日本大震災被災幼児幼稚園就園支援事業	538	1,410	入園料・保育料の減免
鹿児島	運営費	3,204,428	1,699,551	学法・園児1人183,516円
	運営費特別補助	509,183	493,058	学法・預かり保育、特別支援教育
沖縄	運営費	778,806	708,221	学法・園児1人179,251円
	(特別補助)	92,350	70,743	学法・預かり保育、子育て支援
	個人立等幼稚園預かり保育推進事業	300	300	学法以外・預かり保育、子育て支援
	特別支援教育補助	6,860	11,172	学法・2人以上園児1人392,000円
				全幼・1人園児1人196,000円
	読書環境整備事業補助	20,478	25,247	
	安心こども基金事業補助	4,515	4,500	幼稚園1/3 認定こども園1/2
	被災児童生徒等授業料等軽減費補助	114	309	東日本大震災被災児への授業料等軽減
	子どものための教育・保育給付施設型給付負担金	—	5,912	私立幼稚園分
	子どものための教育・保育給付施設型給付補助	—	18,055	私立幼稚園分
子どものための教育・保育給付施設型給付負担金	—	15,628	認定こども園分	
子どものための教育・保育給付施設型給付補助	—	25,921	認定こども園分	

注) 都道府県私学担当課からの報告による、平成27年5月1日現在、全日私幼連調べ

注) 平成26年度額は実績分。平成27年度額は当初予算案・補正見込み分を含む

注) 日本私立学校振興・共済事業団、退職財団・退職社団および融資機関に関するものは除く

注) 各項目の空欄は、5月1日以降の補正予算で確定予定のため

新制度の現場から

平成27年度から福井県私立幼稚園協会は、福井県私立幼稚園・認定こども園協会として新たなスタートを切りました。現在、加盟32園のうち幼保連携型認定こども園は7園、施設型給付の幼稚園2園です。新制度下において幼稚園には多様な選択肢がありますから、当協会も今後さらに様々な種類の園の集まりになっていくと思われま

す。福井県内の幼保連携型認定こども園は、昨年度10園だったものが今年度は一気に39園となりました。新たに幼保連携型認定こども園となった私立幼稚園は1園だけで、あとは公立の保育園や幼稚園、私立保育園からです。私立保育園は、来年度も多く

の園が幼保連携型認定こども園になることが予定されています。私立幼稚園は、新制度下では施設型給付の実施主体が市町になることを初め、いろいろな変更を求められるため、対応に苦慮しているのが現状と言えます。

県内には、今年度創立100周年を迎えた私立幼稚園が複数ありました。私立幼稚園が建学の精神を基に培ってきた教育理念や独自性には長い歴史があり、これらはかけがえのない大切なものだと思います。いま福井県は、「福井型18年教育」と名を打って、生涯にわたる学習の基礎をつくる幼児期の教育の充実を、重点的な取り組みの1つとして

幼児教育の魂のもとに ～かたち変われど、みな幼稚園～

子ども・子育て支援新制度が始まり1年が経とうとしています。宮崎県は全国でも新制度に移行した幼稚園が多く、私学助成園が36園、施設型給付の幼稚園が22園、幼稚園型認定こども園が28園、幼保連携型認定こども園が25園と、約7割が新制度に移行しており、翌28年度には約8割が新制度移行園になる見込みであります。

私の園も27年度から幼保連携型認定こども園になりました。理由はただひとつ。自分が育ててもらったこの地域の幼児教育の灯を消したくない、灯し続けたいという思いからでした。私が園長になった12年前は、全園児50人程でしたので、何とか子どもを集めようと改革を進め、24年度には園舎を増築し、0歳から受け入れる幼稚園型認定こども園になりました。園児は70名程になりましたが、園経営はそこまで好転せず、1年を乗り切るのが精一杯でした。しかし、新制度に移行したことで、多少の余裕ができ環境整備、職員の給与アップ等が出来つつあります。何より、子どもたちに三輪車やままごと道具等を与えられるようになり、喜んでいる姿を見る事が出来たのがとても幸せでした。0歳からの保育をすることで「建学の精神を捨てるのか」、「魂を売るのか」などの声も聞こえてきましたが、決してそうではなく、「幼児教育の灯を守るため」に決断し、結果、子どもたちの笑顔を守ることが出来そうです。

宮崎県幼稚園連合会では様々な形の園に対応するよう、2月には私学助成園の研修会を行い、28年夏の教師研修大会では乳幼児研修も行う予定です。111園それぞれの形ではありますが、「かたち変われど、みな幼稚園」を合言葉に、幼児教育・保育に邁進している宮崎県です。(宮崎県幼稚園連合会政策振興委員長、西都市・認定こども園西都ふたば幼稚園／寺尾好洋)

編集後記

暖かな春を感じながら、皆さん慌ただしい日々をお過ごしのことと思います。

そんな中、当幼稚園は創立110周年を迎えます。明治39年(1906年)の創立を思う時、当時、創立にかかわった方々の、不動の信念に思いが募ります。

時代がどんなに変わろうと、幼子に深い愛情を

注ぐ視線に変わることがあってはならずと、後を継いだ者たちが、切磋琢磨して保育をしています。

幼稚園、認定こども園と呼び名は違っても、フーレベルが創め、アメリカを経由して日本に根づいた幼稚園教育が、日本の津々浦々で発展することを願って止みません。

(調査広報委員・伊達季代子)

平成28年度(第2回) 免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
東京都千代田区	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月17日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	宮下友美恵((公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究修副委員長)、黒田 秀樹((公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 研究修副委員長)、田中 雅道((公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長)、安達 謙((公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究修委員長)	6時間	平成28年7月16日	150人	平28-80012-100251号

●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
東京都千代田区	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月16日開催の必修講習と連続して行うものです。	宮下友美恵((公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究修副委員長)、黒田 秀樹((公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 研究修副委員長)、田中 雅道((公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長)、安達 謙((公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究修委員長)	6時間	平成28年7月17日	150人	平28-80012-300565号

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
青森県弘前市	幼児教育の質の向上のために、第1講座では保育環境について、写真をもとに語り合う。第2講座では、危機管理について、第3講座では様々な記録方法について学びを深める。	岡本潤子(第三千葉幼稚園園長、青森明星短期大学非常勤講師)	6時間	平成28年5月7日	20人	平28-80012-502552号
京都府京都市	幼稚園教育要領の理解、幼児教育の原点、幼児をとりまく環境への理解を深める。5月28日の講習では田中講師から幼稚園教育要領、指導計画を、河嶋講師から幼児教育の原点、保育者の留意すべきことを学ぶ。6月9日の講義では馬見塚珠生講師から幼児期における親及びこどもへの支援のあり方について学び、また、定本講師から虐待と子どもの発達の相関を学ぶ。馬見塚講師はゲストスピーカーに位置付ける。	田中 雅道(公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長)、河嶋喜矩子(京都聖母学院短期大学客員教授)、定本 ゆきこ(京都少年鑑別所・精神科医、龍谷大学非常勤講師)	6時間	平成28年5月30日、平成28年6月9日	100人	平28-80012-502553号
京都府京都市	子どもの理解と同僚性を磨く。午前中の講習では角田春高氏から、幼児期の発達について理解を深め、特別支援についても学ぶ。午後からの講習では浜幼稚園・理事長の秦賢志氏よりワークショップ形式によりコミュニケーション、リーダーの役割を学ぶ。講師はゲストスピーカーとして活用し、田中雅道全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長が関わっている。	田中 雅道(公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長)	6時間	平成28年7月9日	100人	平28-80012-502554号
京都府京都市	子どもの理解と子育て家庭支援等について学ぶ。9月15日の講習会では黒田講師から、幼児の理解を深めることにより保育者の専門性を高めることを目指し、11月17日の講習でははじめに肥後講師から子育て支援に関する心理臨床について学ぶ。最後に田中講師から今日的な幼児教育の課題等について学ぶ。	黒田 秀樹(公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究修副委員長)、肥後 功一(独立大学法人島根大学副学長)、田中 雅道(公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長)	6時間	平成28年9月15日、平成28年11月17日	100人	平28-80012-502555号
佐賀県佐賀市	我が国の子ども達の生活習慣の実態を経年及び諸外国との比較で明らかにし、その課題を認識する。同時に子どもの健やかな成長や発達に日々の規則正しい生活リズムが欠かせないことを脳科学や保育の視点から解説する。その上で家庭や地域との連携を模索し、よりよい生活習慣確立のための具体的な方策を検討する。	鈴木 みゆき(和洋女子大学人文学群こども発達学類教授)	6時間	平成28年5月14日	60人	平28-80012-502556号